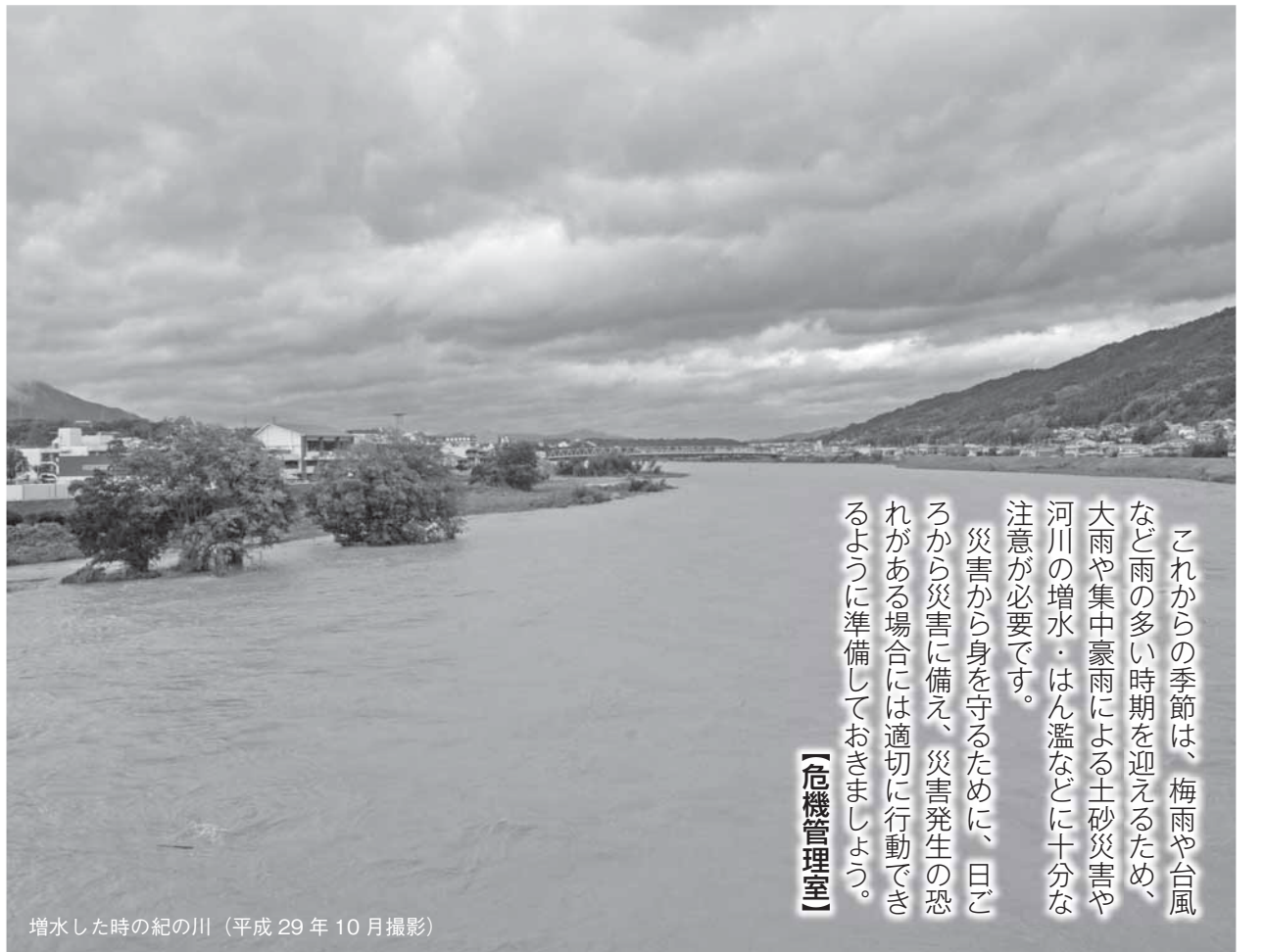


大雨による災害に備えよう



増水した時の紀の川（平成 29 年 10 月撮影）

これからの季節は、梅雨や台風など雨の多い時期を迎えるため、大雨や集中豪雨による土砂災害や河川の増水・はん濫などに十分な注意が必要です。
災害から身を守るために、日ごろから災害に備え、災害発生の際の恐れがある場合には適切に行動できるように準備しておきましょう。

【危機管理室】

拠点避難所一覧

避難所	所在地	避難所	所在地
橋本高等学校	古佐田 4-10-1	あやの台小学校	あやの台 2-17
東家体育館	東家 2-1-13	山内防災センター	隅田町山内 255-2
橋本中央中学校	市脇 5-3-8	恋野小学校	赤塚 129-1
古佐田区民会館	古佐田 1-209-3	ひこばえの里	彦谷 752-15
西部小学校	柏原 554-2	谷奥深集会所	谷奥深 62
旧西部中学校	柏原 500	やどり温泉いやしの湯	北宿 5
紀北工業高等学校	神野々 809	学文路小学校*	学文路 900
紀見幼稚園	御幸辻 284	旧学文路中学校	清水 363
城山小学校	城山台 2-10-2	清水小学校	清水 2014
紀見東中学校	城山台 1-39-2	高野口小学校	高野口町名倉 226
紀見小学校	柿の木坂 25-1	きのかわ支援学校	高野口町向島 101-3
境原小学校	小峰台 1-25-1	高野口中学校	高野口町名古曾 1322-10
柱本小学校	紀見ヶ丘 2-20-1	伏原体育館	高野口町伏原 806-1
三石小学校	三石台 2-1-1	応其小学校	高野口町名古曾 19-1
紀見北中学校	三石台 3-19-1	伊都中央高等学校	高野口町名古曾 558
旧兵庫幼稚園	隅田町下兵庫 395	旧信太小学校	高野口町九重 87-1
隅田中学校	隅田町芋生 243-1	高野口山村体験交流促進センター	高野口町嵯峨谷 116
隅田小学校	隅田町垂井 20		
紀見地区公民館	城山台 2-10-1	隅田地区公民館	隅田町中島 22
学文路地区公民館	南馬場 1173-77	紀見北地区公民館	三石台 4-2-1
中央公民館	東家 1-6-27	山田地区公民館	柏原 433-1
恋野地区公民館	恋野 564-1	高野口地区公民館	高野口町名倉 813-2

※学文路小学校の改修工事が終了するまでは、学文路防災センター（学文路 359-5）を開設

拠点避難所の開設について

本年度から風水害の場合の拠点避難所開設においては2段階の基準を設けて運用を実施します。これまでと基準が異なりますのでご注意ください。なお、地震の場合は震度5強以上で一斉開設となります。

【第1段階】
避難準備・高齢者等避難開始
左の一覧表で色づけしている拠点を避難所

【第2段階】
避難勧告
避難勧告地域の拠点避難所

避難に関する3情報

災害の発生時、市から避難情報を発令します。その情報は次のように3段階に区分されています。これらの違いをよく理解し、自らの身を守りましょう。

【第1段階】
避難準備・高齢者等避難開始
人的被害発生の可能性が高まった段階

非常持出品などの準備を行うとともに、気象情報を収集し、早めに避難の判断をしてください。
高齢者や子どもなどの避難に時間を要する人は、家族などのサポートを受けて避難を始めてください。また、水位が急激に上昇する恐れのある河川付近に住んでいる人も避難を始めてください。

【第2段階】
避難勧告
人的被害発生の可能性が明らかに高まった段階

通常の避難行動ができる人は、速やかに避難所へ避難してください。

避難情報をエリアメール・緊急速報メールで配信

市では、防災行政無線、防災はしもとメールなどを活用し、市民の皆さんに避難情報などを配信しています。

また、これらに加えて、携帯電話会社による「エリアメール」や「緊急速報メール」を活用しています。



これらのメールは、指定された地域にあるスマートフォンなどの携帯電話に一斉送信され、受信すると専用の警告音とともに画面に自動表示されます。使用機種または電波状況により、受信できない場合があるので、緊急時はテレビを活用するなど複数の手段で情報収集しましょう。

避難に関する注意点

【避難時の注意点】
雨風が強い時や夜間の避難は、かえって危険な場合があるため、雨風が強くなる前や日没前など、早めの避難を心掛けるとともに、外出が困難な場合は自宅の2階など少しでも安全な場所へ移動してください。

避難する場合は、向かう先の拠点避難所が開設されているかを確認してから避難してください。

【拠点避難所への避難時には】
飲食物などを持参しましょう
拠点避難所には、飲料水や非常食などを備蓄していますが、数に限りがあります。また、自宅のように設備が整っている訳ではありません。避難する場合は、最低でも1日分の飲食物や上履き、寝具、その他ご自身で必要となるものをお持ちください。



一人ひとりが

防災意識を高めましょう

防災においては「自分の身は自分で守る（自助）」「地域での助け合い（共助）」「行政や公的機関による支援（公助）」という3つの柱をすべて機能させることが大切です。
災害に備え、できることから始めましょう。例えば、自助として、自分が住んでいる地域でどんな危険があるのかを把握したり、事前に必要なものを用意したりしましょう。また、共助として、地域の行事に参加し、地域住民と顔の見える関係を構築することや、地区での防災訓練に参加して、防災力を高めることも大切です。災害から身を守るため、行政などから発信される情報の収集を心掛けるなど、日ごろから一人ひとりが防災意識を高めておくことが重要なのです。